



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 アキレス株式会社

上場取引所 東

コード番号 5142 URL <https://www.achilles.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 守

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理本部長兼経理部長 (氏名) 河野 和晃

TEL 03-5338-8238

四半期報告書提出予定日 2019年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	39,936	△2.7	676	△7.7	870	△20.0	624	△11.3
2019年3月期第2四半期	41,026	△4.2	732	△32.8	1,087	△16.7	704	△42.3

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 180百万円 (△76.0%) 2019年3月期第2四半期 754百万円 (△37.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	39.60	—
2019年3月期第2四半期	42.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	72,750	40,898	56.2	2,600.68
2019年3月期	74,891	41,763	55.8	2,620.91

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 40,898百万円 2019年3月期 41,763百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	△0.8	1,700	21.2	2,100	4.8	1,900	461.9	120.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) 阿基里斯(佛山)新型材料有限公司

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	15,862,714 株	2019年3月期	16,762,714 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2020年3月期2Q	136,796 株	2019年3月期	827,959 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	15,780,435 株	2019年3月期2Q	16,730,472 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済が好調を維持したものの、米中貿易摩擦や中東情勢の緊迫化など先行き不透明な状況が続きました。日本経済は、雇用環境の改善等により緩やかな景気回復基調が継続した一方で、世界経済の不確実性の影響が懸念される状況が続きました。

このような事業環境のもと、当社グループは企業価値の増大を目指して、お客様が求める商品・ブランド力のある商品創りに注力してまいりました。具体的には省エネルギー関連製品、環境対応製品、生活関連製品など成長分野とインフラ整備関連分野、およびグローバル化へと積極的な事業展開を推進するとともに、継続してコストダウンおよび省エネルギー・廃棄物の削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高 39,936 百万円(前年同四半期比 2.7%減)、営業利益 676 百万円(前年同四半期比 7.7%減)、経常利益 870 百万円(前年同四半期比 20.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益 624 百万円(前年同四半期比 11.3%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<シューズ事業>

アキレス独自開発による素材を活かしたランニングシューズ「MEDIFOAM(メディフォーム)」は市場での認知度が高まり、前年売上を上回りました。また、ジュニア向けの「n☆pschool(ニコ☆プテスクール)」、走れるカジュアルシューズ「SLBY SYUNSOKU(エスエルバイ シュンソク)」ならびに高機能校内用上履きの「瞬足@SCHOOL」は市場より高い評価を得られましたが、競合他社との競争激化により、シューズ事業全体では前年売上を下回りました。

シューズ事業の当第2四半期連結累計期間の業績は売上高 5,720 百万円(前年同四半期比 8.6%減)、セグメント損失(営業損失)は 575 百万円(前年同四半期はセグメント損失 562 百万円)となりました。

<プラスチック事業>

車輦内装用資材は、国内向けは前年並みを確保できましたが、中国・北米向けは自動車マーケット減速の影響を受け、全体として前年売上を下回りました。

フィルムは、北米事業では医療用の受注増加により、前年売上を上回りましたが、国内事業は半導体市況の低迷の影響と欧州向け窓用の苦戦により、前年売上を下回りました。農業分野は、農業用ハウス被覆材の受注増加により、前年売上を上回りました。

建装資材は、市況鈍化傾向の中、床材はほぼ前年並み、壁材は製品値上げと新柄投入の効果により伸長し、前年売上を上回りました。

引布商品は、災害救助用ゴムボートの受注が好調でしたが、輸出用ボートが苦戦し、全体として前年売上を下回りました。

プラスチック事業の当第2四半期連結累計期間の業績は売上高 19,151 百万円(前年同四半期比 4.5%減)、セグメント利益(営業利益)は 1,570 百万円(前年同四半期比 6.9%減)となりました。

<産業資材事業>

ウレタンは、寝具・車輦・雑貨用など主力製品が好調に推移し、前年売上を上回りました。

断熱資材のシステム製品は倉庫等建築物向け、スチレン製品はブロック加工品が好調に推移し、前年売上を上回りました。パネル製品は畜産向けが低調に推移し、ボード製品も建築向けが苦戦し、

断熱資材全体では前年売上を下回りました。

工業資材は、北米・アジア向けシリコンウエハー搬送用部材の輸出が減少し、前年売上を下回りました。

産業資材事業の当第2四半期連結累計期間の業績は売上高15,065百万円(前年同四半期比2.4%増)、セグメント利益(営業利益)は988百万円(前年同四半期比10.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は72,750百万円で前連結会計年度末に比較して2,141百万円減少しました。

資産の部では、流動資産は43,222百万円となり前連結会計年度末に比較して2,186百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が2,019百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が2,683百万円、電子記録債権が1,496百万円減少したことによります。固定資産は29,527百万円となり前連結会計年度末に比較して45百万円増加しました。これは主に、有形固定資産が461百万円増加しましたが、投資有価証券が282百万円、退職給付に係る資産が145百万円減少したことによります。

負債の部では、流動負債は23,535百万円となり前連結会計年度末に比較して1,140百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が893百万円、電子記録債務が190百万円減少したことによります。固定負債は8,316百万円となり前連結会計年度末に比較して134百万円減少しました。これは主に、退職給付に係る負債が112百万円減少したことによります。

純資産の部は40,898百万円となり、前連結会計年度末に比較して865百万円減少しました。これは主に、自己株式の取得により409百万円、為替換算調整勘定が222百万円、退職給付に係る調整累計額が107百万円減少したことによります。なお、自己株式の消却により、資本剰余金及び自己株式がそれぞれ1,874百万円減少しております。以上の結果、自己資本比率は56.2%となり前連結会計年度末に比べ0.4%好転しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は7,225百万円(前連結会計年度末比2,019百万円増加)となりました。

営業活動の結果、増加した資金は4,783百万円(前年同四半期比3,141百万円収入増)となりました。これは主に、売上債権の減少4,123百万円、減価償却費1,511百万円、税金等調整前四半期純利益842百万円による収入と、仕入債務の減少1,039百万円、その他の負債の減少439百万円、たな卸資産の増加185百万円、未払消費税等の減少125百万円の支出によるものであります。

投資活動の結果、減少した資金は1,633百万円(前年同四半期比488百万円支出減)となりました。これは主に、固定資産の取得による支出1,653百万円によるものであります。

財務活動の結果、減少した資金は1,053百万円(前年同四半期比217百万円支出減)となりました。これは主に、配当金の支払額637百万円、自己株式の取得による支出409百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年8月8日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,209	7,228
受取手形及び売掛金	21,760	19,076
電子記録債権	4,390	2,893
商品及び製品	9,144	8,946
仕掛品	1,504	1,718
原材料及び貯蔵品	2,068	2,190
その他	1,395	1,214
貸倒引当金	△62	△45
流動資産合計	45,409	43,222
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,154	8,559
機械装置及び運搬具（純額）	5,883	6,233
土地	4,180	4,177
建設仮勘定	462	150
その他（純額）	659	681
有形固定資産合計	19,341	19,802
無形固定資産	297	290
投資その他の資産		
投資有価証券	3,613	3,331
退職給付に係る資産	3,193	3,047
繰延税金資産	2,364	2,368
その他	726	764
貸倒引当金	△54	△77
投資その他の資産合計	9,843	9,434
固定資産合計	29,482	29,527
資産合計	74,891	72,750

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,658	11,765
電子記録債務	3,017	2,827
短期借入金	2,228	2,220
未払金	2,379	2,214
未払法人税等	269	227
その他	4,123	4,280
流動負債合計	24,676	23,535
固定負債		
長期借入金	3,000	3,000
繰延税金負債	373	345
退職給付に係る負債	4,636	4,523
資産除去債務	381	387
P C B廃棄物処理引当金	41	41
その他	18	18
固定負債合計	8,451	8,316
負債合計	33,128	31,852
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,640	14,640
資本剰余金	6,712	4,838
利益剰余金	20,364	20,351
自己株式	△1,749	△284
株主資本合計	39,967	39,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	752	685
繰延ヘッジ損益	49	2
為替換算調整勘定	7	△214
退職給付に係る調整累計額	985	878
その他の包括利益累計額合計	1,796	1,352
純資産合計	41,763	40,898
負債純資産合計	74,891	72,750

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	41,026	39,936
売上原価	32,496	31,650
売上総利益	8,529	8,286
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	2,889	2,843
広告宣伝費及び販売促進費	496	523
貸倒引当金繰入額	△29	5
給料手当及び福利費	2,808	2,774
退職給付費用	149	58
旅費交通費及び通信費	320	307
減価償却費	113	66
その他	1,048	1,031
販売費及び一般管理費合計	7,796	7,610
営業利益	732	676
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	35	30
持分法による投資利益	115	97
為替差益	34	—
不動産賃貸料	39	41
その他	175	98
営業外収益合計	402	270
営業外費用		
支払利息	16	20
為替差損	—	17
支払補償費	4	16
その他	26	22
営業外費用合計	47	76
経常利益	1,087	870
特別利益		
固定資産売却益	0	4
投資有価証券売却益	0	12
保険差益	8	4
特別利益合計	9	22
特別損失		
固定資産売却損	4	0
固定資産除却損	54	49
特別損失合計	58	49
税金等調整前四半期純利益	1,039	842
法人税、住民税及び事業税	279	160
法人税等調整額	54	57
法人税等合計	334	217
四半期純利益	704	624
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	704	624

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	704	624
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	△67
繰延ヘッジ損益	295	△47
為替換算調整勘定	△169	△184
退職給付に係る調整額	△11	△107
持分法適用会社に対する持分相当額	△47	△38
その他の包括利益合計	49	△443
四半期包括利益	754	180
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	754	180
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,039	842
減価償却費	1,394	1,511
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△107	5
受取利息及び受取配当金	△37	△33
支払利息	16	20
為替差損益(△は益)	△2	8
持分法による投資損益(△は益)	△115	△97
固定資産除売却損益(△は益)	58	45
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	△12
保険差益	△8	△4
売上債権の増減額(△は増加)	1,783	4,123
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,148	△185
仕入債務の増減額(△は減少)	△365	△1,039
未払消費税等の増減額(△は減少)	△53	△125
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	9	△112
その他の資産の増減額(△は増加)	△182	94
その他の負債の増減額(△は減少)	△366	△439
小計	1,911	4,601
利息及び配当金の受取額	282	287
利息の支払額	△14	△20
保険金の受取額	8	4
法人税等の支払額	△545	△89
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,642	4,783
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△0	△0
固定資産の取得による支出	△2,118	△1,653
固定資産の売却による収入	3	4
投資有価証券の取得による支出	△19	△17
投資有価証券の売却による収入	0	21
貸付金の回収による収入	11	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,122	△1,633
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	30	△6
自己株式の取得による支出	△626	△409
配当金の支払額	△674	△637
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,271	△1,053
現金及び現金同等物に係る換算差額	△52	△77
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,803	2,019
現金及び現金同等物の期首残高	8,653	5,206
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,849	7,225

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、阿基里斯(佛山)新型材料有限公司を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

なお、阿基里斯(佛山)新型材料有限公司は当社の特定子会社に該当しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	6,257	20,055	14,714	41,026	—	41,026
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	68	301	370	△370	—
計	6,257	20,123	15,015	41,396	△370	41,026
セグメント利益又は 損失(△)	△562	1,686	892	2,016	△1,283	732

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△1,283百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	5,720	19,151	15,065	39,936	—	39,936
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	71	307	378	△378	—
計	5,720	19,222	15,372	40,315	△378	39,936
セグメント利益又は 損失(△)	△575	1,570	988	1,982	△1,306	676

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△1,306百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。